

## 「楽しい学校」をつくるために〔第3部その(2)－(通算34)〕

### －『1年生を迎える会』に寄せて－

4月20日に、『1年生を迎える会』を行いました。5、6年生の企画委員の司会のもと、各学年のプレゼント（2年生－昨年採れたアサガオの種子とお手紙、3年生・4年生－『ようこそ しゅじんこう』の花文字、竹のアーチの花飾り、5年生－かわいい首飾り、6年生－親子こいのぼり）に包まれて、4年生が持つ花のアーチをくぐって、かわいい1年生が拍手で迎えられました。

2年生－『大きな種子』の寸劇でアサガオの成長を紹介し、自分たちが一生懸命育てたアサガオの種子を1年生に託しました。今年も、きっと、きれいなアサガオが育つことでしょう。

3年生－『給食』の寸劇で、好き嫌いなく給食を摂ることの大切さを1年生にしっかりアピールしました。

4年生－『4年生ラジオ』と銘打って、楽しいコントで学校生活を表現。そして、リコーダーで『パフ』をとっても上手に演奏しました。

5年生－『学校のきまり』（「ろうかは走らない」「チャイムを守ろう」「そうじ道具を大切に」「あいさつをしよう」）を<参加型クイズ>でとってもわかりやすく、楽しく紹介してくれました。

6年生－『1年間の行事の紹介』 遠足、水泳、運動会、全校集会をからだをはってのプレゼンテーション。もう、1年生は大喜びでした。

そして、本日の主賓の1年生の『ドキドキドン1年生』の歌とお礼の言葉。手をつないでのとってもかわいいうたごえでした。

最後に全員で『校歌』を合唱。1年生がしっかり歌っているのにびっくりしました。学校に実際来たのは、まだたったの10日なんですよ。

まさしく、どの学年も、主人公として、知恵を出し、しっかり考え、工夫して、1年生を迎えたのです。もちろん、それを聞き入る・見入る1年生も、「聞く・見る」主人公そのものであり、自分たちの発表でも「話す・書く」（表現）主人公そのものでした。「互いにかかわり合うことを通して、自らを高め合う」（本校の研究主題）子どもたちの「児童会活動」として、とっても感動的でした。すてきなスタートでした。

（堀之内）